

## ★ 凧あげと子育て ★

この話は、学校だより『くすのき』平成23年5月号に掲載されていた、虫本利久元校長先生のもので、私なりに理解した内容でお伝えします。

凧は、竹ひごで凧の形を作ります。竹のもつしなやかさを生かし、ささくれを無くした竹ひごで、まず、作られます。次に紙を貼ります。少々の風で破れない

丈夫な紙が貼られます。最後に、バランスをとるために脚を付けます。これらのことを子育てに置き換えると、しなやかでささくれの無い竹ひごと適度な強度をもつ紙は、基本的な生活習慣に裏打ちされた健康な心と体にあたります。脚は、子どもが家や学校で生活していくときの役割や責任にあたります。凧作りはこれで完成です。

でも、凧は空に揚がれません。凧が空に揚がるためには、風が必要です。それも、凧の正面から吹いてくる逆風です。背中を押してくれる順風では、凧は揚がらないのです。さらに、逆風が吹いても、このままでは凧がどこかへ飛んで行ってしまいます。凧と人とを結ぶ糸が必要です。つまり、逆風（苦しいことや頑張らなければならないこと）の中で、凧と人とを結ぶ糸（親と子の絆、教師と子どもの絆）がしっかりしていないと凧は空には揚がらないのです。もし、凧が落ち始めると、「今が頑張り時だよ。負けるな。」と励ましながら糸を引っ張る必要があります。また、逆風が強すぎると凧は壊れそうになり、糸を緩めて下さなければなりません。この糸の操作が、凧を揚げる人（親や教師）の仕事だと虫本先生は書かれていました。私は、最後に場所が必要だと考えます。安心して凧が揚げられる場所（地域）も必要なのではないのでしょうか。

71名の卒業生が、大空に舞い揚がりました。さらに、空に舞い揚がる準備をしている子どもがたくさんいます。子育ての伝統があるこの豊原小学校には、家庭と地域、学校が一緒になって、子どもが空高く舞い揚がるよう見守る風土があります。今後も、私は豊原っ子の成長を見守っていきます。

【文責 森 昭二】



第77回 卒業証書授与式 (3/14)

5月の行事予定		
3	金	憲法記念日
4	土	みどりの日
5	日	こどもの日
6	月	振替休日
14	火	委員会(運動会予行準備)
15	水	運動会予行
17	金	運動会準備
19	土	運動会(雨天順延)
20	月	振替休業日
25	木	耳鼻科検診13:30

### 〈豊小トピックス〉

#### ○お琴クラブ発表

【3月1日】



Zoomでお琴クラブの発表が行われました。「さくらさくら」、「うれしいひな祭り」の2曲を演奏しました。お琴の先生が見守る中、緊張した面持ちではありますが、自信をもって演奏しているように見えました。指導していただいた先生方からも拍手をしていただき、安どの表情を見せていました。